

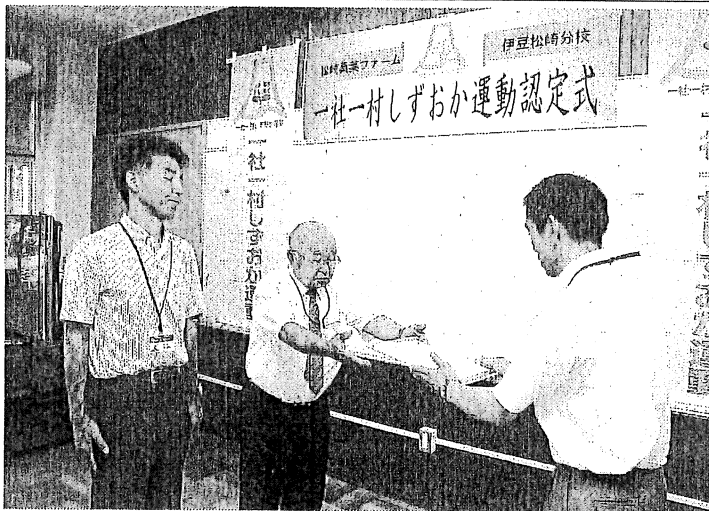
「桑葉ファーム、特支分校を認定」

・・・県の一社一村しずおか運動 町おこし、人材育成意欲・・・

桑葉ファーム、特支分校を認定

県の1社1村 しずおか運動 町おこし、 人材育成意欲

松崎



三輪所長から認定書の伝達を受ける齋藤代表(中央)、成岡副校長(左) 県立東部特別支援学校伊豆松崎分校

地域の企業と農村との連携強化を目的に県が推進する「1社1村しずおか運動」で、松崎町の企業組合・松崎桑葉ファームと県立東部特別支援学校伊豆松崎分校に4日、認定書が交付された。川勝平太知事名の認定書を伝達した県賀茂農林事務所の三輪照光所長は「双方にメリットが生まれる協働活動として、互いのアイデアを通じ地域の人たちがさらに輝けるよう願いたい」と期待を込めた。

同運動は、地域貢献

定。に関心の高い企業と、過疎化が進む農山村とを結びつけるのが目的。10年ほど前に始まり今年が県内で43件目、管内で7例目の認

定。松崎桑葉ファームは桑の葉の特産化と地域活性化、町内の耕作放棄地対策を狙いに2013年から6次産業化に取り組み。これまで100坪で苗の植栽や、生育を行っている。

同分校の生徒たちは、学校に近い畑での苗植えや、収穫作業に継続的に参加している。認定で、企業組合側は人的支援のさらなる

充実、栽培拡大が見込まれる。一方、分校としても生徒たちの職場体験を通じた就労・研修機会の増加や、卒業

後の活躍につながる。

同ファームの齋藤首代表は「分校とのつながりを密に、町おこしに努めていく」、同

分校の成岡裕司副校長は「今後も地域で生き、活躍できる人を育てることに力を入れていきたい」と語った。